

平成30年度

教育委員会事務の点検・評価

令和元年8月

川北町教育委員会

1 教育委員会事務の点検・評価について

(1) 趣 旨

効果的な教育行政の推進を目的に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、平成20年度から、毎年、教育委員会の権限に属する事務の執行状況について、学識経験者の知見を活用し、点検・評価を行い、その結果を取りまとめ議会に提出するとともに、公表することとなりました。

川北町教育委員会は法の趣旨に則り、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、住民への説明責任を果たし、住民から信頼される教育行政の推進を目指していきたいと考えています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条1 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するものとする。

(2) 対象年度

平成30年度に実施した教育委員会主管の主要な事務事業を点検・評価の対象とします。

(3) 実施方法

- ① 教育委員会が事務局となり、活動事項と教育長に委任する事務事項に区分整理し、点検・評価し今後の課題についてまとめました。
- ② 教育長に委任する事項については、教育委員会事務局各課の主要事務事業を、10項目の評価シートに抽出分類し、個々に自己点検・評価した内容から、今後の課題を提起しました。尚、主要事務事業の詳細については『平成30年度川北町の教育』をご参照ください。
- ③ 上記により取りまとめた評価シートを項目ごとに客観的視点を確保するために学識経験者として、川北町の教育行政にご理解ある次の方々に依頼し、ご意見をいただきました。また、ご意見をいただいた内容につきましては、今後の川北町教育委員会活動の参考にさせていただきたいと考えております。

氏 名	公 職 等
森元 芳朗	元中島小学校 校長
寅若 雄一	平成31年度 川北町社会教育委員長
増田 嘉代子	平成31年度 川北町女性協議会 会長

2 教育委員会会議及び活動状況

(1) 教育委員会会議の開催状況及び審議等事項

川北町教育委員会は「川北町教育委員会会議規則」第3条の規定に基づき、以下のように13回の定例会及び臨時会を開催いたしました。また「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第23条に規定される職務権限及び「川北町教育委員会教育長に対する事務委任規則」の規定に基づき、以下のように審議しました。

開催日	会名	内容
4月6日(金)	定例会	小・中学校入学式出席 教職員辞令交付 川北町教育目標及び基本方針について 平成30年度小中学校学級編成について
5月15日(火)	定例会	平成30年度児童生徒就学援助について 石川県教育委員会連合会定例総会出席
6月26日(火)	定例会	川北小・中島小学校計画訪問
7月13日(金)	定例会	町PTA連合会との教育懇談会について 教育委員会の事務の点検・評価について
8月8日(水)	定例会	町教職員との懇談会 市町教育委員会セミナーに出席 教科書採択について
9月11日(火)	定例会	当面する諸問題について 小・中学校運動会に出席
10月1日(月)	臨時会	教育委員会組織について
10月17日(水)	定例会	石川県市町教育委員会連合会研究大会 総合教育会議 英語教育強化拠点地域事業公開授業出席
11月13日(火)	定例会	当面の諸問題について 川北中・橘小計画訪問
12月3日(月)	定例会	平成31年度学校予算ヒアリング
1月9日(水)	定例会	当面する諸問題について 私立高校等の出願状況報告 成人式出席
2月7日(木)	定例会	当面する諸問題について 立志式出席
3月15日(金)	定例会	公立高校出願状況、教職員異動内示について 小・中学校卒業式出席、平成30年度予算

(2) 教育委員会活動の概要

① 学校訪問

- ・ 教育事務所計画訪問日に合わせて各学校の学校経営に関する懇談会、及び授業参観などの訪問（各学校、年間1回） 合計 4回
- ・ 新年度予算編成に際する各学校訪問（12月）
- ・ 入学式、運動会、卒業式に出席

② その他の行事

- ・ 平成30年度総合教育会議開催
- ・ 成人式、立志式、町制記念綱引き大会、町社会体育大会、町表彰式などの行事に出席
- ・ 県市町教育委員会連合会総会及び研修会に出席
- ・ 県中学校体育大会出場チーム応援（7月15日）
剣道競技（白山市総合体育館）、バレーボール競技（いしかわ総合体育館）
卓球競技（加賀市スポーツセンター）

(3) 自己評価及び学識経験者からの意見

- ・ 教育委員会会議では、学校現場においての児童・生徒の実態等については細かく報告し、必要に応じて協議をして指導も仰いでいる。また緊急性を要する内容に関しては、教育長の判断により臨時教育委員会会議を開き、迅速に教育委員に状況内容を報告した。
- ・ 教育委員の一名が任期中に辞任することとなり、臨時会議にて、辞任の承認を得た。
- ・ PTAとの連携強化を図るため、毎年各学校PTA、町PTAの方々から要望を聞く意見交換会の日程を設定し、ハード事業、ソフト事業共に子どもの視点から将来を見据えた内容で返答した。また懇談会から様々な要望が出されていたが、今年度は、学校図書館司書の予算化が決まり来年度から配置予定である。
- ・ 学校訪問や入学式、運動会など学校行事だけでなく、各種行事に出席し、教育の現状や教育現場の要望などの把握に努め、教育行政に反映させていることは、教育委員会と学校間に信頼感を醸成し、教育の充実に連動し、町民から厚い信頼を受けていると考える。
- ・ 川北町の教育活性化を目指し、毎年校長会と一緒に県外先進校視察を行っている。今年度、独創的な学校運営をおこない、成果を出している東京都千代田区麹町中学校を視察訪問した。生徒の将来像を見据えた教育を中心に据え、学期テスト廃止等、工藤校長先生の多くの学校運営改革の話は、今後の川北町にとっても大きな刺激となり各学校の学校運営の参考になった。
- ・ 10月に町総合教育会議を開催し、今後の取り組みとして次年度の重点施策は「教員の働き方改革」と、「若手人材育成」について提案した。町教委と学校が連携して進めることも確認した。

平成30年度 教育委員会点検・評価シート ①

学校教育関係	(1) 学校一般事業について	担当	学校教育課
目 標	学校における教育活動が円滑に進められるように努める。		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 入学式（4月6日） <ul style="list-style-type: none"> ・中島小10名、川北小33名、橘小24名、川北中79名が入学 ○ 修学旅行 <ul style="list-style-type: none"> ・4月 川北中学校3年生が京都、大阪、広島方面へ2泊3日 ・5月 中島、川北、橘小学校6年生が合同で能登方面へ1泊2日 ○ 児童生徒の健康診断 <ul style="list-style-type: none"> ・4月～6月にかけて各学校で一斉に実施 ○ 平成31年度新入学児童 就学時健康診断 <ul style="list-style-type: none"> ・対象は保育所年長組で、10月～11月に実施。 ○ 就学指導委員会（11月） <ul style="list-style-type: none"> ・対象となる児童生徒について協議した。 ○ 入学説明会（各学校で実施） <ul style="list-style-type: none"> ・保護者対象に各学校で実施。 ○ 北光賞選考委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・平成2年度（第1回）からスタートし、今年で第29回を迎えることとなりました。今年で47名の方々が受賞されました。 			
教育委員会点検・評価及び今後の課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の入学説明会は、昨年度も好評であった白山市美川で小児科を行っている多賀 千之医師を今年度も迎え、「家庭の子育てのポイント」について講演をしていただきました。具体的な事例を交えながらのお話は、初めて小学校に就学する子どもを持つ保護者の方からは、「とても参考になった」と感想をいただき今年の説明会も好評であった。 ・小中学校の入学式の時間差開催は二年目となり、来年は、総括・評価し今後の方向性を検討する。この様式を取り入れた事で、学校の運用が午前中で全て終えるため、午後は新年度の準備等がゆとりをもって出来るという報告を受けている。 ・就学指導委員会に望むにあたって、事前に指導主事が保育所を訪問し、園児の観察や保育士との懇談を行った。これにより情報提供内容が増し、適切な就学指導ができた。 ・通級指導教室が開設されて4年目となり、自校生だけでなく他校生も入り運営の面でも軌道にのってきた。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年から新学習指導要領完全実施にあたり、小学校では授業時数が必然的に増えてくる中で、教員の多忙化改善とリンクさせて考えていく必要がある。 			

- ・現在中学校の修学旅行は四月に実施しているが、クラス増のために事前計画に時間が十分に取れないなどの問題があり、解決策として時期の変更の検討を要する。
- ・子どもの多様化が進む中で、指導の連続性が求められていることもあり、保・小・中の連携が今後の課題である。
- ・小学校に通級生（学習支援が必要な児童）が中学校に進学した時の学習支援が手薄になってきたこともあり、今後中学校にも通級指導教室の開設を検討する必要がある。

平成30年度 教育委員会点検・評価シート ②

学校教育関係	(2) 学校教育活動の推進	担当	学校教育課
目 標	心豊かで、幅が広く、厚みのある「確かな学力」の向上をめざす。		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校研究の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・詳細については、「平成30年度 川北町の教育」P28～49参照 ○ 学力向上に向けての取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・「若手育成推進事業」では推進校の取り組みを町内各学校で共有し実践した。 ・各学校での校内研修等をオープンスクール化することで、教員の授業力向上を目指した。 ○ 平成21年度より『特色ある学校づくり』推進事業を計画し、それぞれの学校では、学校独自の特色を生かす取り組みを推進した。 ○ 特別支援教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級の設置（川北小2学級、橘小1学級、中島小1学級） ・自閉症、ADHD、LDなどの発達障害を持つ児童生徒のために特別支援教育支援員を小学校に5名、学習支援員を中学校に1名配置した。 ○ 国際理解活動の普及 <ul style="list-style-type: none"> ・町独自の予算で国際交流員を一名配置し、町民との交流を推進した。 ○ 新学習指導要領の実施に向けて <ul style="list-style-type: none"> ・県指定「英語教育強化拠点地域事業」を受けて、町内小中学校が連携し英語教育を推進した。 ・タブレットを使った「英語4技能テスト」と外国人講師と直接会話ができる「OST事業」を継続して2年目となった。 ○ 生徒指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・町学校教育研究会生徒指導部を中心に教員研修の充実に努めた。 ・県教育センターのスクールカウンセラー事業は、今年度も各小学校を訪問し指導に努めることができた。 ・いじめ、不登校への対策として、教育相談週間を学期ごとにもうけ、常に情報の収集に努めた。さらに、いじめ問題対策チームを各学校に常設し組織的な対 			

応に努めた。

○ 開かれた学校

- ・それぞれの学校で学校公開日を設け地域住民の方々に公開してきた。
- ・小学校では地域の方にゲストティーチャーとして、子ども達に道徳や総合学習などで指導をしていただいた。

○ 学校の危機管理

- ・自然災害に対応して通常の避難訓練に加えて、地震、不審者に対する避難訓練を実施した。さらに学校が町の避難場所にもなっていることもあり、地区合同の避難訓練を行った。

○ 学校安全

- ・今年も川北町に新しく赴任した教職員を対象に救急救命講習会を実施した。

教育委員会点検・評価及び今後の課題

- ・若手育成推進校の事例を参考に、ベテランも若手もすき間時間等を利用して授業案の検討等を重ねた結果、学校力及び教員全体の授業力向上にも繋がった。
- ・中学校の相談室登校生にたいして学級担任、学年教員が計画的に対応し、そのすき間に学習支援員が入り、連携した取り組みができた。
- ・町予算で採用したC I Rが保育所、児童館に随時訪問したことで外国への興味関心が高まり、小学校での英語教育への橋渡しにもなった。
- ・いじめのない学校づくりを目指すために日頃から積極的に情報収集に努め、イジメ対応アドバイザーを入れたイジメ問題対策チームを各学校に設置した。さらに、スクールカウンセラーを全学校に派遣し、児童・生徒が何時でも相談ができる環境をつくった。
- ・不審者に対する危機管理として、ハード面では全ての学校玄関に防犯カメラとオートロックを設置した。ソフト面では警察と連携して不審者に対する避難訓練をロールプレインを入れて実施した。

(課題)

- ・発達障害の子どもの増加や子どもの多様化に伴っての指導方法についての研修会を特別支援委員も交えて進める必要がある。
- ・開かれた学校をさらに推進するために、コミュニティスクール開設する必要がある。
- ・学校が町の避難場所になっているので、町から地域、学校への指示系統を精査する必要がある。

平成30年度 教育委員会点検・評価シート ③

学校教育関係	(3) 学校施設設備について	担当	学校教育課
目 標	安全で安心して教育活動ができるよう、学校施設設備の充実に努める。		
<p>○ 安全管理の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校単位で、ボランティアとして「見守り隊」(約100名が登録)を結成し、児童の防犯パトロールに当たった。 ・ 通学路の安全点検を学校、国・県・町道路管理者、警察、通学路アドバイザーと合同で実施した。 ・ 各小学校に防犯カメラとオートロックシステムを設置した。 ・ 学校遊具の安全点検を業者に委託して、今年度も実施した。 <p>○ 給食備品の整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度、橘小に真空冷却機、川北小にガスフライヤーを導入した <p>○ 教室の環境整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 橘小学校に特別支援学級が新設されるにあたり、教室の整備を行った。 			
教育委員会点検・評価及び今後の課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 下校時間の見守りについて、下校時間が学年によって異なるので学校の月予定を見守り隊に配布し協力の要請をお願いした。 ・ 各小学校の見守り隊と学校安全担当とで、それぞれの校区での安全対策の課題や問題点を出し合い、情報共有できたことで、今後の指導への道筋が開かれた。 ・ 不審者対策として、各学校に防犯カメラとオートロックシステムを設置し安全対策に努めた。 ・ 給食備品の整備を順次行っていることで、安全で衛生的に配慮した給食を子どもに提供できるようになった。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通学路の安全点検を合同で行ったことにより、それぞれの立場で問題点を把握でき、対応も迅速にできた。より安全性の質を高めるには、安全点検に、見守り隊の参加協力が必要となる。 ・ 学校周辺地域をスクールゾーンに指定し、子どもの安全性を高める必要がある。 ・ 学校近くの横断歩道等はドライバーから見にくいため安全強化のために、カラーペイントで見やすくする工夫が必要である。 ・ 不審者が侵入してきた場合の警察への緊急通報システムの設置を考える必要がある。 ・ 正規、パート調理員を含めて、安全面・衛生面での研修会を実施する必要がある。 			

平成30年度 教育委員会点検・評価シート ④

社会教育関係	(4) 社会教育活動について	担当	社会教育課
目 標	子どもから大人まで気軽に参加できる事業・行事の開催をめざす。		
<p>○ 第24回川北桜まつりは（手取川健康ウォークラリー）雨天中止となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋内で行う健康スポーツテストは、多くの方が参加され終了後、くわの実会から桜モチや花見だんごが参加者に配布された。 ・今年も約30名余りの中学生がボランティアとして参加し、体力測定の補助などを積極的にしてくれた。 <p>○ 国際交流関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際交流員の学校訪問（児童館・保育所・小中学校）・・・異文化交流 ・英語教室（一般対象）が前期後期併せて46回開講 ・子どもとの交流事業（ナデイラのダンスパーティー） ・今年で31回目のジャパンテントはホストファミリー6家族で、6名の留学生を受け入れた。 <p>○ 人権教育関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・櫛光学級、男女共同参画事業、中学生の人権映画鑑賞。 <p>○ 文化祭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内各種文化団体より出品展示 ・「文化の日」記念講演は、渡部 陽一 氏による講演を実施した。「戦場からのメッセージをあなたに～ファインダー越しに見た命の現場～」と題した講演に、多くの町民が訪れた。 <p>○ 成人式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人式実行委員会が自主制作した手作りビデオの上映 ・参加率 男子45名（97%）、女子30名（85%） <p>○ 立志式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川北中2年生86名が出席し、北陸大学教授 藤岡 慎二氏 による講演会を実施した。 <p>○ 男女共同参画事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月に第一回総会が開催され、今年度の事業計画について審議された。年間3回の事業が実施され、3月には年間のまとめの会も行われ今後の活動のさらなる推進をはかった。 <p>○ 自治公民館活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町卓球大会出場が年度の活動の始まりとなり、地区運動会、町制記念綱引き大会、火まつり参加、町社会体育大会、地区講演会などの催しが行われた。 			
教育委員会点検・評価及び今後の課題			

- ・川北さくら祭りは、事前準備で受け付け、各ポイント、ゴミの分別等の入念な打ち合わせをし、安全にも配慮をしたものであったが天候不順により中止とした。ただ、健康スポーツテストは年齢を問わず多くの方が参加してくれ、統計資料の作成にも繋がった。
- ・成人式実行委員会を7月に立ち上げ、第二部の運営、記念ビデオ製作を手作りで行ってくれ、成人式の盛り上げにも尽力してくれた。県外の大学や働いている人が増えているにもかかわらず、参加率が高いのはその成果でもある。
- ・新たに町採用の国際交流員カミル・ナデイラ・イクバルさんが町に赴任し、各児童館や保育所での交流を積極的におこなった。英会話教室では新たに小学生コースを設け、小学校英語との連携ができたことは評価できる。
- ・ジャパンテントでは、6名の留学生を迎え入れ、日本料理体験、町無形文化財である加藤和紙での紙すき体験や、町からプレゼントされた浴衣を着てお琴体験をした。多くの日本文化に触れる機会として留学生はとても喜んでいた。
- ・年間を通じて自治公民館行事（綱引き大会、社会体育大会など）は若い世代を中心に、多くの方が参加され、活気ある町づくりを目指す観点では評価できる。
(課題)
- ・毎年、ジャパンテントの留学生を受け入れてくれるホストファミリー探しに難航しているが、交流イベントが終わった後は、大変良かったと好評の声も聞かれるので、次年度からは、PRなどの広報活動を強化しなければならない。

平成30年度 教育委員会点検・評価シート ⑤

社会教育関係	(5) 青少年教育	担当	社会教育課
目 標	心豊かで、幅が広く、厚みのある「確かな学力」の向上をめざす。		
<p>○ 明日の子どもを育てる町民会議関係</p> <p>町社会教育委員が中心となって推進委員会、専門委員会、総務委員会を組織し企画・運営している。</p> <p>5月16日 総務委員会</p> <p>6月11日 専門委員会（全体会及び分科会）</p> <p>11月 9日 町教育講演会（薬師寺副執事長 大谷 徹柴）</p> <p>12月 5日 総務委員会</p> <p>1月27日 「かわきたの豊かな心を育むみんなの集い」</p> <p>○ 愛のひと声グッドマナー運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動週間（6月4日～10日 有線放送を活用、前期、後期） ・街頭指導（9月3日～9月 9日）約500名の町民が参加 <p>○ 青少年講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期（4回）10講座129名、 後期（4回）10講座114名参加 <p>○ 手取川プラン策定委員会</p>			

- ・各小中学校での「総合的な学習の時間」で、まちの先生を積極的に活用
- ・手取川いきいき教室では2講座に143名参加
- ・夏休みいきいき体験ウイークでは11講座に261名が参加
- 青少年活動連絡協議会
 - ・町内のスポーツクラブなど11団体の指導者と町、学校関係との日程調整や情報交換、研修会など年間4回の会合を実施。
- 家庭教育関係
 - ・町教育講演会、子育て講演会の実施

教育委員会点検・評価及び今後の課題

- ・今年度は年間33講座に延べ647名の児童生徒が参加され、年間を通して大盛況であった。講師である町の先生も学校外教育の一環として子どもの育成に尽力してくれた。
 - ・「かわきたの豊かな心を育むみんなの集い」の企画に子どもサミットを新たに開催した。各学校の代表で参加した子ども達の活発な発言は、今後の川北町の将来が見据えられ、意見交換を交わすことで、楽しい交流体験となった。
 - ・川北の愛の一声グッドマナー運動は年間を通じて、各種団体、学校、生徒会、Jクラブ等が行政防災無線を通して町民に呼びかけをしており、少しずつ成果も見えてきた
 - ・夏休み体験ウイークは、会議で念入りに計画を立て準備をしてきたが、酷暑により企画していた教室は子どもたちの健康の安全性を考慮し中止となった。
- (課題)
- ・年間を通して体験活動の発表の場である「みんなのつどい」は今年度もインフルエンザの流行で中止となった。次年度の開催時期の検討をする必要がある。
 - ・青少年講座は町の学校外教育として町民の方々が「まちの先生」となり長年続いているが、ジュニアクラブに入会する子ども達が増えているため講座の参加率が減少している。青少年講座の存続と子ども達が参加しやすい企画を検討しなければならない。
 - ・毎年、町民会議の分科会（家庭教育、地域教育）で子どもを中心に据えたテーマについて、いろいろな方面から貴重な意見をいただいているが、それをどう生かしていくかが検討課題である。

平成30年度 教育委員会点検・評価シート ⑥

社会教育関係	(6) 女性教育について	担当	社会教育課
目 標	女性としての教養を高め、さらに地域貢献できる人材を育てる。		
<p>○ 合同学級</p> <p>5月18日(金) 学級開講式、第1回合同学級</p> <p>6月24日(日) 第2回合同学級(テーブルマナー)</p> <p>3月27日(水) 第3回合同学級・合同学級閉講式</p> <p>○ 各校下の学級</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たちばな学級 1月16日(金) 親子でストレッチ ・なかじま学級 7月27日(金) 水引き小物作り ・若竹 学級 2月 6日(水) バレンタインアイシングクッキー作り 			
教育委員会点検・評価及び今後の課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・川北まつりの中で川北音頭を女性協議会が中心となって毎年披露しており、近年は外国の方の飛び入りもあり少しずつ知名度も高まってきた。 ・女性協議会の合同学級では、活動を通して繋がりを深めてもらうことも目的の一つとしており、毎年のテーブルマナー講習会は気軽に参加できその目的に合致している。 ・男女共同参画事業推進会議にも参加し、女性の視点での話題が出て非常に中身の濃い会になった。今後の女性の社会参画への足がかりにもなり、期待するところである。 ・町内の各種イベントにも多く参加し、春の桜祭りではゴミの分別作業をスタッフと共に参加してくれ、イベントを支えてくれた。 ・各校下ごとの活動は毎年工夫をこらしており、今年は同じ女性協議会員を講師に招いてのクッキー作りを行い、横の繋がりも深まった。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性協議会の活動継続には会員の確保が必要であるが、若い世代の方は仕事を持ちながらの活動には難色をしめしている。 ・会の活動を多くの人に知ってもらうために、他の団体との交流も検討する必要がある。 			

平成30年度 教育委員会点検・評価シート ⑦

社会教育関係	(7) 成人教育について	担当	社会教育課
目 標	生涯を通して学習活動を高めることのできる環境づくりに努める。		
<p>○ 教養・趣味教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前期7教室 62名、後期8教室 75名参加 英会話教室（初級中級上級）、英会話教室（小学生）親子トランポリン教室、笑い&ヨガ教室、クレイクチュール教室、塩麴で簡単シンプルごはん、パン作り教室、エコクラフト教室、つまみ細工教室、飾り巻き寿司教室など <p>○ 櫻光学級（高齢者学級）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8回の講話に平均して100名が参加、視察研修には121名が参加 ・ 6回以上参加された方は27名 <ul style="list-style-type: none"> 6 / 8（金）『おなか元気教室』 （株）ヤクルト北陸 元屋 雅美 氏 7 / 6（金）『事例から学ぶあなたの身近な相続について』 （株）フロンティア 野澤 領 氏 8 / 23（木）『気になる目』 前田眼科クリニック 前田 有 氏 9 / 20（木）滋賀県長浜方面へ視察研修 10 / 4（木）『60才からの人生とお金』 シニアライフコンサルタント 小山 政宏 氏 11 / 9（金）『幸せの条件～よりよい人間関係を求めて』 薬師寺副執事長 大谷 徹瑛 氏 12 / 7（金）『未来を育む発酵食』 麴料理研究家 小紺 有花 氏 3 / 1（金）『笑って元気に』 レクレーションインストラクター 西井 直江 氏 			
教育委員会点検・評価及び今後の課題			

- ・今年度の教養、趣味教室はパン作りや飾り巻き寿司教室などの食を扱うものに人気がでて、教室開催中はとても雰囲気もよく来年度につながるものであった。
- ・小学生対象の英会話教室は、町が小学校外国語教育の推進をはかっている中で、学校と行政とが連携をした取り組みとして評価をできる。
- ・擲光学級参加者の送迎に町バスを出しており、利用人数は少ないがニーズがあるかぎり今後も継続していきたい。

(課題)

- ・擲光学級の講演内容は教養、歴史、文化と幅広いもので、演題も今日的に参考になるものを中心に設定し、評判もよかった。今後は話を聞くだけでなく、参加型のワークショップも検討すればいい
- ・擲光学級には現在老人会を中心に参加案内を出しているが、今後は一般町民にも興味を持てるような内容も入れ、案内も町広報や防災行政無線を通して呼びかけることも必要である。

平成30年度 教育委員会点検・評価シート ⑧

社会教育関係	(8) 社会体育関係	担当	社会教育課
目 標	明るく豊かな生活を支えるスポーツを推進することにより、町民の健康増進に努める。		
<p>○ 会 議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町体育協会常任理事会（6回）、理事会（3回）、その他県・加南地区等の会議 <p>○ 第29回川北町町制記念綱引き選手権大会（6月10日・日曜日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女合計36チームが参加、町民など約900名参加し、男子は藤蔵・中島区、女子は藤蔵・中島区が優勝した。 <p>○ 第52回町社会体育大会（10月7日・日曜日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風接近の為に中止 <p>○ 第72回草深甚四郎慰霊剣道大会（10月28日：800名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内各地より多数の団体が参加して行われた歴史と伝統ある大会 <p>○ スポーツ推進委員（10名）</p> <p>町の体育関係行事に推進委員として積極的に参加し、指導に当たっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町、加南、県、全国のスポーツ推進委員研修会に積極的に参加し研鑽に努めている。 <p>○ 川北町体育協会単位協会（17単位協会）</p> <p>野球協会、バレーボール協会、ソフトボール協会、剣道協会、相撲協会 卓球協会、スキー協会、ウエイトリフティング協会、バスケットボール協会 ゲートボール協会、ゴルフ協会、テニス協会、トランポリン協会、 グラウンドゴルフ協会、サッカー協会、陸上協会、パークゴルフ協会</p>			
教育委員会点検・評価及び今後の課題			

- ・町社会体育大会は町民の健康と体力増進や親睦を図る目的があるが、今年度は台風接近により、町民の安全を優先し中止となった。
- ・町制記念綱引き大会は、会を重ねるたびに多くの区が参加し、当日だけでなく、一年間クラブ活動として練習を行っているチームもあり、競技力も向上しレベルの高い大会になってきた。
- ・各種スポーツ団体主催の事業が年間を通して数多く実施されており、健康増進や会員相互の親睦をはかる意味でも引き続き援助していきたい。

(課題)

- ・町制記念綱引き大会は毎年多くのチームが参加されるようになってきた。今後継続維持させていくためには、現在のチーム対抗戦と親睦を図る新たな企画を取り入れことも考えていかなければならない。
- ・草深甚四郎大会は県内でも歴史ある大きな大会となってきたが、今後継続していく上で運営面、内容面を十分に精査することが必要である。
- ・町体育協会は現在17単位協会で構成されており、会員が中心になって活動を続けている。今後地域スポーツの活性化を目指すことも視野に入れて、Jクラブや中学校との連携も考えていく必要である。
- ・スポーツ推進員の研修会でニュースポーツの研修を受けたものを、社会体育大会等の場所で紹介するなど、社会体育振興を積極的に進める必要がある。

平成30年度 教育委員会点検・評価シート ⑨

社会教育関係	(9) 文化団体活動関係	担当	社会教育課
目 標	文化活動を通して、心豊かな住みよい町づくりに努める。		
○ 町文化祭（11月3日）			
・ 作品展示、盆栽展示会、小中学生お抹茶会、チャリティバザーなど			
○ 第18回芸能発表会（11月11日）			
・ 12団体プログラム24番（参加者 522名）			
○ 作品展示			
・ 町文化センター1階ロビーを活用し作品展示をした。町外からも鑑賞に来た。			
○ 川北町文化団体協議会（登録人数298名）			
・ 川北町生花会	23名	・ 川北町囲碁クラブ	21名
・ 川北町菊盆栽会	休会	・ 裏千家茶道協会	5名
・ 川北町将棋愛好会	10名	・ 書道協会	8名
・ 野の海短歌会	15名	・ 川北町俳句協会	10名
・ こまどり会	11名	・ 民謡協会	17名
・ 民舞協会	7名	・ 川北町写真協会	23名
・ 手取亢龍太鼓保存会	36名	・ 川北町大正琴の会	36名
・ 川北町水墨画協会	9名	・ 川柳かわらなでしこ会	5名

<ul style="list-style-type: none"> 川北町山野草会 11名 美箏会 7名 	<ul style="list-style-type: none"> 比楽河撫子舞 24名 フラワーアレンジメント 20名
教育委員会点検・評価及び今後の課題	
<ul style="list-style-type: none"> 年に一回開催している芸能発表会は、日頃の練習の成果を発表する場でもあるが、クラブを通じて会員同士の親睦の築かれる大切な活動にもなっている。 町文化センター1Fロビーの作品展示を、今年はふれあい温泉まで広げたことで、町内外とたくさんの方々が閲覧しやすくなった。 文化祭の作品展示に合わせて、参加型の将棋教室等も開設したのがとても好評で多くの方が来場し、来年にも繋がる企画であった。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化協会の活性化を図る意味で、芸能発表会での小学生の参加はいい刺激となり、今後の中学生の参加にも繋げたい。 文化協会は年間を通じて各単位協会ごとに計画的に活動しているが、どの協会も会員の高齢化が進んでいるので、今後は幅広い年齢層への呼びかけを進めていく必要がある。 	

平成30年度 教育委員会点検・評価シート ⑩

社会教育関係	(10) その他の活動	担当	社会教育課
目 標	それぞれの専門分野での研修を深め、審議内容の充実に努める。		
○ 図書館協議会運営委員会 <ul style="list-style-type: none"> 11月19日(月) 協議の後、野々市市立図書館を視察した。 町図書館利用状況 H30年度入館者数 24,669名 開館日数 305日 蔵書冊数 81,822冊 なでしこ広場 幼児、小学生を対象として、年間15回の行事を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> 4月23日(月) 春のお話会 8月24日(金) ちょこっとおはなしかい 8月25日(土) レッツ チャレンジ 8月31日(金) ちょこっとおはなしかい 10月27日(土) しんくんシアター 12月15日(土) クリスマス会 5月～3月 英語に親しみ、世界に向けて心を広げよう：9回 			
○ 文化財保護審議委員会 <ul style="list-style-type: none"> 町指定の有形文化財など 中島神社本殿(中島 社殿の彫刻類 文久2年 1862年) 			

富田少彦名神社石祠（橘新 石造 二軒 江戸時代初期）

草深甚四郎墓碑（草深 寛政5年 1793年）

- ・2月13日（水）越前市にて、越前鳥の子紙について学び、保存会についてや雁皮の収穫・栽培について視察研修を行った。

教育委員会点検・評価及び今後の課題

- ・学校図書館と町図書館が連携して子どもの読書量増加や英語教育の推進に取り組んでいる。特に昨年度から、なでしこ広場で英語に親しみが持てるように、絵本を使っての読み聞かせは子どもの興味・関心の高揚が見られ、成果をおさめた。
- ・「他市町の図書館の利用促進に向けて」の情報を参考に、川北町様式を作成し進めていくことを検討している。（小学校低学年対象のぬいぐるみのお泊り大作戦など）
- ・加藤和紙の材料の調達・栽培等について先進地視察を行い、いろいろと意見交換ができた。今後の方向性につながり、成果を得ることができた。
（課題）
- ・町有形文化財の一つである草深甚四郎の歴史について、問い合わせがあった時に受け皿として審議委員会が機能した。今後見識をさらに深める意味でも、学習会を開催する必要もあると考える。
- ・川北町で伝承されている（手取川洪水、草深甚四郎など）を語れる方々が高齢となってきた。伝統継承保存のためにも写真や本を作成し、また洪水の貴重な写真などの品を整理・保存しなければならない。